



学校図書館だより

7・8月合併号

令和2年7月
柏市立 中学校
柏市学校図書館指導員

7月に入り、日に日に太陽の日差しが強くなってきました。本格的な暑さに備えて、睡眠と栄養をしっかり摂り、体力を蓄えましょう。汗をかいたらこまめに着替え、水分補給も忘れずに。もちろん、手洗い、うがいも続けて行いましょう。食欲も衰えがちですが、トマトやきゅうりといった旬の夏野菜はいかがですか。図書館にはおいしい食べ物の本もたくさんあります。ぜひ探しに来てくださいね。



七夕

たなばた



7月7日

年に一度、織姫（織女星・こと座のベガ）と彦星（牽牛星・わし座アルタイル）が天の川を渡って逢うことが許された日とされています。七夕の物語は中国の後漢のころに作られ、奈良時代に日本に入ってきたといわれています。

なぜ、このような梅雨の時期に星のお祭りをするのでしょうか？

それは明治に行われた改暦のせいなのです。天保暦から太陽暦に変更されたことによって、七夕もひと月ほど早い時期に行う行事になってしまいました。

2001年に国立天文台は「伝統的七夕」の日を広く報じていくことにしました。旧暦の7月7日に近い日を次のように定義します。二十四節気の中の処暑よりも前で、処暑に最も近い新月の時刻を含む日から数えて7日目が「伝統的七夕」の日です。2020年の今年は、8月25日になります。



自然科学研究機構 国立天文台HPより



今月のおすすめ 《夏だ！暑い！熱い！厚い！本を読もう！》

『「また、必ず会おう」と誰もが言った。
偶然出会った、たくさんの必然』

喜多川 泰 サンマーク出版 <913/キタ>

秋月和也は熊本県に住む高校生。小さなウソが原因で、単身ディズニーランドへ行く事に。ところが不運が重なって最終便の飛行機に乗り遅れ、所持金もわずか。どうやって熊本まで帰ればいいのか？途方に暮れる和也に声をかけたのは一人のおばさんだった…。

熱い！

『リーチ先生』

原田 マハ 集英社 <913/ハラ>

日本の美を愛し続けた英国人陶芸家バーナード・リーチ。明治42年、22歳で芸術の道を志して来日。若き日本人芸術家と手賀沼で過ごした日々は、彼の人生を大きく突き動かしていく。明治、大正、昭和にわたり東洋と西洋の懸け橋となった生涯を描くアートフィクション。

厚い！

『虹色ほたる 永遠の夏休み』

川口 雅幸 アルファポリス <913/カワ>

一年前に交通事故で父親を亡くしたユウタは、小6の夏休みに一人、父との思い出の地を訪れていた。一緒にカブトムシを獲りに来ていた山奥のダム。今は使われていないそのダムで、ユウタは突然の雷雨に襲われ、足を滑らせて気を失ってしまう。やがて目覚めたユウタの目の前には、一人の小さな女の子とダムに沈んだ木の村が…。

暑い！

『キッドナップ・ツアー』

角田 光代 理論社 <913/カク>

私を見下ろすお父さんの背後には、車輪のピカピカ光るいろんなタイプの自転車が。きっとこの人は、私がいなかったら、なんの罪悪感もなく鍵のかかっていない自転車を拝借しちゃうんだろうな、と私は思った。本当のことを言うと、私はそう思うことが嬉しかった。甲斐性ない、だらしない、お金ない。3N(3ナイ)父親と、ハルとのひと夏のユウカイ旅行。

※「ライブラリーサーチ」の紹介文を引用しています。

★ 学校図書館よりお願い ★

新しい生活様式にそった図書館の使い方
にご協力お願いします

- 利用する前、利用した後、手洗いをしよう。
- ソーシャルディスタンスを守りましょう。



◎裏面に「第66回青少年読書感想文全国コンクール課題図書」の紹介をしています。